

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名		16 広域河川改修		補助・単独別		補助		建設部 河川課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
1	ゆかわ 湯川 なかのいざね 甲軽井沢  (軽井沢町)	全体延長 L=1,760m 護岸工L=1,760m 橋梁工N=3基  (工期:H1~H25)	休止	休止	護岸工L=600m 橋梁工N=2基	必要性 B	77%	しなの鉄道が負担する耐震補強の予算確保のため協議中である。国道18号から上流の施工方法について、今後地元と調整が必要である。	しなの鉄道橋の耐震補強(しなの鉄道施工)予算確保状況により施行を検討し実施していく。 国道18号上流部については、施工方法について地元協議が必要のため、H23年度は休止とする。	上流域の実施方法要検討。	「休止」 H23年度は引き続きしなの鉄道との協議を進め、方針が決まった後、国道18号上流部の施工方法を地元と協議する。	
		18億5000万円	0円	0円	4億2950万円	重要性 B	特記事項 H20再評価「継続」 H23年以降は流下能力が不足している残区間の対応を検討し実施していく。 B/C(費用対効果)=2.3					
						効率性 A	住民参加状況等					
						緊急性 C	地域住民に管理用道路を公園の遊歩道としても利用してもらい、同時に維持管理にも協力してもらっている。					
2	もとめかわ 求女川  たなか 田中  (東御市)	全体延長L=1,170m 護岸工L=1,170m 護床工L=1,170m 橋梁工N=6基 床止工N=14基  (工期:H3~H25)	護岸工L=40m 護床工L=40m ボックスカルバート工L=7m	護岸工L=120m 護床工L=120m	護岸工L=400m	必要性 C	85%	計画どおり進んでいる。 平成22年度には85%が完了し、引き続き護岸工を実施する。	当河川は東御市街地を流れる急流河川であり、残区間はいずれも流下能力がなく、浸水被害防止の観点から継続とする。	上下部との整合を図るため、整備の必要性は認められる。	「継続」 「再評価」	
		13億5000万円	5000万円	7000万円	1億9950万円	重要性 B	特記事項 H22再々評価「継続」・当河川は全区間において急勾配であり、残区間はいずれも現況の流下能力がなく、浸水被害防止の観点から事業実施が必要であるため事業継続。					
						効率性 B	B/C(費用対効果)=1.3					
						緊急性 B	住民参加状況等 地域住民による河川内の草刈りが毎年6月に実施されている。					
3	やでわか 矢出沢川 とさわぎ 常盤城  (上田市)	全体延長 L=1,000m 護岸工 L=2,000m 橋梁工 N=4基 市道付け替え工一式  (工期:H22~H31)	護岸工 L=450m 橋梁工 N=2基 市道付け替え工一式	市道付替工 L=21m	護岸工 L=1,550m 橋梁工 N=2基	必要性 B	30%	計画どおり進んでいる。 H22に災害推進費を活用し被災箇所の護岸工を実施し、H23は引き続き護岸工を実施する。	本河川は、これまでに度重なる浸水被害があり、また、平成22年8月2日にも甚大な浸水被害があったこと及び早急な河川整備に対する地元要望も強いことから、早急な対策が必要である。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		13億6500万円	4億1580万円	1億円	9億4920万円	重要性 A	特記事項 平成22年8月2日豪雨による災害対策等緊急事業推進費対応箇所。					
						効率性 B	B/C(費用対効果)=2.2					
						緊急性 A	住民参加状況等 地元諏訪部河川愛護団体による河川清掃が春・秋に行われている。					

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	16 広域河川改修		補助・単独別	補助	建設部	河川課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
4	しゅうよせかわ 十四瀬川 むさし 長地  〔岡谷市〕	全体延長L=2,440m 護岸工L=1,780m 二層化改修L=660m 橋梁工N=7基  〔工期：H11～H25〕	休止	休止	護岸工L=1,780m 橋梁工N=1基	必要性 B	90%	平成21年度に上流工区における二層化改修工事が完了。 平成22年度からJRと渡河部協議により休止中	ボトルネック部であるJR渡河部において、鉄道事業者との協議・調整を要するため、平成23年度は休止とする。	重要性が認められる。	「休止」
						重要性 A	特記事項 平成21年度の諏訪圏域河川整備計画の策定(変更)において、未改修区間の整備を引き続き継続することが方針として示された。				
						効率性 A	未改修区間において、ボトルネック部にJR中央本線が横断して、JRとの協議に時間を要する。 B/C(費用対効果)=8.4				
		9億9000万円	0円	0円	9190万円	緊急性 B	住民参加状況等 地元関係区等による河川愛護団体による美化活動が行われている。				
5	とかわ 砥川 あかすな 赤砂  〔下諏訪町〕	全体延長L=2,800m 護岸工L=2,800m 橋梁工N=2基  〔工期：H17～H28〕	護岸工L=280m	護岸工L=300m 用地補償費1式	護岸工L=2,000m 橋梁工N=1基	必要性 A	30%	引き続き、下流から護岸工等を実施する。 国道20号富士見橋の架け替え協議(国土交通省長野国道工事事務所)を実施中。H23から橋梁詳細設計着手予定。	下諏訪町の中心市街地を流下し、流下能力が低く、流域には下諏訪町役場や人家が連担しており、必要性及び緊急性が高く、事業に対する地元意識も高いため、継続とする。	必要性が高い。	「継続」
						重要性 B	特記事項 平成21年度の諏訪圏域河川整備計画の策定(変更)において、コスト縮減を図りながら事業を継続することが方針として示された。				
						効率性 A	ワカサギ産卵場所に配慮し、工事期間を漁協と調整している。 B/C(費用対効果)=10.3				
		36億円	1億1753万円	2億円	24億9660万円	緊急性 A	住民参加状況等 地元関係区等による河川愛護団体による美化活動が行われている。				

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	16 広域河川改修		補助・単独別	補助	建設部	河川課		
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
6	てんりゅうかわ 天竜川 しょうりゅう 上流  岡谷市・辰野町	全体延長L=31,667m  天竜川工区 L=11,416m 諏訪湖工区 L=15,251m 新川工区L=4,100m 承知川工区L=900m  〔工期：S37～H30年代〕	新川工区 測量・地質調査・ 詳細設計	新川工区 用地測量、物件 調査1式 橋梁予備設計2 橋  承知川工区 JR委託1式 護岸工L=25m	天竜川工区 L=11,416m 新川工区L=1,100m 承知川工区L=900m	必要性 B	53%	〔新川工区〕河川激特事業区間の上流部について、H22概略設計が終わり、地元説明・調整を行っている。H23から詳細設計、用地買収に着手予定。	新川においては、平成21年8月豪雨時に支川が氾濫しており、本川の流下能力を向上させ、新川沿川の治水安全度を高める必要性・緊急性が高いため、継続とする。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
		161億6700万円	4000万円	2億9410万円	75億1100万円	重要性 A	特記事項 〔「項目毎の評価」は〔新川工区〕を対象〕 〔天竜川工区〕 H20再評価：天竜川工区は、下流の直轄区間との整備バランスから一時休止。 〔新川工区〕 S62年6月台風災害：床上浸水対策特別緊急事業（H7～H12） H11年6月豪雨災害：床上浸水対策特別緊急事業（H14～H18） H18年7月豪雨災害：河川激甚災害対策特別緊急事業（H18～H22） H21年8月豪雨災害：上流未改修区間における事業着手（H22～） 〔諏訪湖工区〕 概ね完成。 〔承知川工区〕 H18年7月豪雨災害：河川激甚災害対策特別緊急事業（H18～H22） B/C(費用対効果)=2.4〔新川工区〕				
						効率性 B	住民参加状況等 地元関係区等による河川愛護団体による美化活動が行われている。				
						緊急性 A					
7	たがわ 田川 なぎさむらい 渚～村井  〔松本市〕	全体延長L=8,500m 築堤工L=17,000m 護岸工L=17,000m 床固工N=3基 橋梁工N=26橋  〔工期：S26～H30年代〕	護岸工 L=72m	護岸工 L=175m	護岸工 L=10,250m 床固工 N=1基 橋梁工 N=13橋	必要性 A	56%	計画どおり進んでいる。 引き続き、最下流区間の護岸工の進捗を図る。	松本市市街地を流れる河川で、流域の治水に関する関心が高く、かつ整備の必要性も高いため継続とする。	必要性、重要性が高い。	「継続」
		54億9300万円	2億3793万円	2億9000万円	24億4010万円	重要性 A	特記事項 H20補助事業見直し：既往最大規模の洪水に対し、安全に流下させることができる治水安全度を確保することを目標とする。 H20再評価：上記をふまえ継続 奈良井川水系河川改良促進期成同盟会により早期の治水対策が求められている。 B/C(費用対効果)=7.9				
						効率性 B	住民参加状況等 河川愛護団体があり、河川の美化及び環境保全活動を実施している。				
						緊急性 A					

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	16 広域河川改修		補助・単独別		補助		建設部 河川課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
8	ならいがわ 奈良井川 しまうち まさへ 島内～笹部  (松本市)	全体延長L=6,800m 築堤工L=17,600m 護岸工L=17,600m 床止工N=5基 橋梁工N=7橋  (工期：S16～H30年代)	護岸工 L=30m	護岸工 L=50m	護岸工 L=7,370m 床止工 N=5基 橋梁工 N=3橋	必要性 A	72%	計画どおり進んでいる。田川との合流部について護岸を整備中。	奈良井川最大の狭窄部である区間の改修で、松本市市街地を流れる河川で、必要性が高いため継続とする。	必要性が高い。	「継続」
		236億1410万円	1億3745万円	5000万円	65億9050万円	重要性 B	特記事項 H20補助事業見直し：既往最大規模の洪水に対し、安全に流下させることができる治水安全度を確保することを目標とする。 H20再評価：上記をふまえ継続 奈良井川水系河川改良促進期成同盟会により早期の治水対策が求められている。 B/C(費用対効果)=7.9				
						効率性 B	住民参加状況等 河川愛護団体があり、河川の美化及び環境保全活動を実施している。				
						緊急性 A					
9	すきざわ 薄川 しょうない ぶんのみ 庄内～舟付  (松本市)	全体延長L=5,900m 築堤工L=5,900m 護岸工L=11,800m 床止工N=89基 橋梁工N=13橋  (工期：S42～H30年代)	休止	休止	掘削工V=83,030m3 護岸工L=1,400m 橋梁工N=2橋 床固工N=11基	必要性 A	78%	薄川下流の奈良井川、田川の河川改修を先行させるため休止中	松本市市街地を流れる河川で、流域の治水に関する関心が高く、かつ整備の必要性も高いため継続とする。奈良井川、田川の改修を先行させるため、H23は休止とする。	必要性が高い。	「休止」
		21億5060万円	0円	0円	4億7840万円	重要性 B	特記事項 H20補助事業見直し：既往最大規模の洪水に対し、安全に流下させることができる治水安全度を確保することを目標とする。 H20再評価：上記をふまえ継続 奈良井川水系河川改良促進期成同盟会により早期の治水対策が求められている。 B/C(費用対効果)=7.9				
						効率性 B	住民参加状況等 下流部では、河川愛護団体による河川の美化活動が行われている。				
						緊急性 A					
10	めとぼがわ 女鳥羽川 ふかし あかだ 深志～岡田  (松本市)	全体延長L=6,400m 護岸工L=12,800m  (工期：S24～H30年代)	護岸工 L=50m	護岸工 L=100m	護岸工 L=830m	必要性 A	87%	関連河川(奈良井川、田川)と調整しながら進めている。引き続き護岸工を実施する。	松本市街地を流れる都市河川であり、治水上必要性が高い河川であるため継続とする。	必要性が認められる。	「継続」
		52億9480万円	5000万円	9750万円	6億6540万円	重要性 B	特記事項 H20補助事業見直し：既往最大規模の洪水に対し、安全に流下させることができる治水安全度を確保することを目標とする。 H20再評価：上記をふまえ継続 奈良井川水系河川改良促進期成同盟会により早期の治水対策が求められている。 B/C(費用対効果)=7.9				
						効率性 B	住民参加状況等 河川愛護団体があり、河川の美化及び環境保全活動を実施している。				
						緊急性 C					
11	あさかわ 浅川 ふるさと 古里  (長野市)	全体延長L=12.23km 護岸工 L=12.23km 橋梁工 N=23基  (工期：S52～H27)	護岸工 L=100m	護岸工 L=120m	護岸工 L=580m 橋梁工 N=1基	必要性 A	95%	計画どおり進んでいる。引き続き護岸工を実施する。	当河川の改修事業は、必要性、重要性の評価が高く、現在も進む近隣の宅地化に併せ、被災対象家屋が増えているため、早期解消を目指す事業を継続としたい。	必要性、重要性が高い。	「継続」
		222億5000万円	2億3270万円	2億円	11億1280万円	重要性 A	特記事項 浅川流域の治水対策は確実性・「治水専用ダム」と「河川改修」を河川整備計画に位置付け、事業調整を実施しながら実施している。 B/C(費用対効果)=4.1				
						効率性 A	住民参加状況等 河川愛護会、地域区民及び学童の学習の一環として清掃・除草等の活動が実施されている。				
						緊急性 C					

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	16 広域河川改修			補助・単独別	補助	建設部	河川課	
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
12	ひるかわ ふじさわ 蛭川・藤沢 かわ かんたかわ 川・神田川 まつしろ 松代  〔長野市〕	蛭川 全体延長L=3,980m 護岸工L=3,980m 橋梁工N=13橋 藤沢川 全体延長L=1,868.5m 護岸工L=1,868.5m 橋梁工N=11橋 神田川 全体延長L=3,000m 護岸工L=3,000m 橋梁工N=16橋  〔工期：S35～H30年代〕	休止	休止	神田川 護岸工L=1,800m 橋梁工N=13橋	必要性 A	79%	神田川上流部の改修を実施するため、計画について地元と調整中。	住宅が密集している神田川上流改修区間は流下能力が低く、河川の増水による甚大な浸水被害の発生する恐れがあることから、事業継続とする。河川改修計画について地元調整中のため、H23は休止とする。	必要性が高い。	「休止」
		194億9300万円	0円	0円	41億1920万円	重要性 B	特記事項 平成20再評価 コスト縮減を図ったうえで見直して継続。				
						効率性 B	B/C(費用対効果)=3.9				
						緊急性 B	住民参加状況等 毎年 松代町河川愛護会で蛭川、藤沢川、神田川の堤防及び河川内の草刈り及びゴミ拾い等を行なっている。				
13	さいがわ 犀川 くめじ 久米路  〔長野市〕	全体計画 河川トンネル L=229m,D=10m 開削工 L=150m,V=300,000m <sup>3</sup> 第2河川トンネル工 L=199.5m D=15.0m  〔工期：H11～H26〕	第2河川トンネル工 L=199.5m D=15.0m	第2河川トンネル工 L=199.5m D=15.0m	第2河川トンネル工 L=199.5m D=15.0m	必要性 B	48%	河川トンネル、右岸杉山部の開削工が完了し、第2河川トンネル工を施工中。	昭和62年に三者協定(長野県、信州新町、東電)が締結されており、狭窄部である久米路峡による堰上げ対策を早期に実現する必要がある。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
		39億9900万円	3億7000万円	1億円	17億2900万円	重要性 A	特記事項 昭和58年9月出水で信州新町中心部が浸水したため、昭和62年に久米路峡恒久治水対策を策定。平成20年再評価 継続。				
						効率性 A	平成22年8月 河川整備計画認可 B/C(費用対効果)=2.1				
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし				

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	16 広域河川改修		補助・単独別	補助	建設部 河川課			
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
14	ちくまがわ 千曲川 しいやま 飯山  (飯山市)	全体延長L=2,700m 築堤工L=2,700m 護岸工L=2,700m 樋管工N=5基 水路工L=3,100m  (工期:H4~H26)	築堤工 L=450m	築堤工 L=60m 樋管工N=1基	築堤工L=800m 護岸工L=800m 樋管工N=1基 水路工L=1,136m	必要性 B	83%	計画どおり進んでいる。 H17に1期分(1,100m)が完了し、引き続き2 期分(900m)築堤工を実施する。	事業区間は度々浸水 被害があり、近年の 出水でも浸水被害が あり治水上必要性が 認められる。最下流 部の改修済区間での 事業効果が発現され ているため継続とす る。	堤防未整備区間で あり、整備の必要 性は認められる。	「継続」
		26億5000万円	1億1200万円	1億4000万円	4億5000万円	重要性 B		特記事項 H18再評価 樋管2箇所減 6千万円減 H16年度台風23号、H18年度梅雨前線豪雨でも浸水被害が 発生			
						効率性 B		B/C(費用対効果)=1.3			
						緊急性 B		住民参加状況等 地元桑名川区築堤委員会は工事に協力的で、維持管理にも協 力してもらっている。			
合計	14箇所	1102億6650万円	17億6341万円	15億4160万円	292億6310万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満			

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名			16広域河川改修(地域活力基盤創造交付金)		補助・単独別		補助		建設部 河川課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況					
1	しょうちかわ 承知川 とんべ 富部  (下諏訪町)	全体延長L=340m 護岸工L=340m (工期:H21~H26)	用地補償1式	用地補償 1式	護岸工L=340m	必要性	3.0%	計画どおり進んでいる。 激特区間下流の地元調整・用地買収を進め、早期工事着手を目指す。	下諏訪町の中心市街地を流下し、流下能力が低く、流域は人家が連担しているため、引き続き河川改修を行っていく必要があり、継続とする。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」		
						重要性						特記事項 H18年7月豪雨災害:河川激甚災害対策特別緊急事業(H18~H22)	
						効率性						B/C(費用対効果)=6.0	
						緊急性						住民参加状況等 自治会や学校等による河川愛護活動が行われている。	
2	いのさわかわ 猪の沢川 しもこいで 下小出  (伊那市)	全体延長L=423m 護岸工L=423m 橋梁工N=3基 (工期:H17~H23)	橋梁工N=1基 (下部工 1式) 護岸工L=4.0m	橋梁工N=1基 (上部工1式) 護岸工L=24m	橋梁工N=1基 (上部工 1式) 護岸工L=103m	必要性	88%	計画どおり進んでいる。 橋梁工2基が完了し、引き続き橋梁工1基及び護岸工を実施し、H23完了を目指す。	当該河川流域に国道153号等の幹線交通が存在しており、緊急性が高いため、継続とし、H23の完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」		
						重要性						特記事項 平成11年6月30日の梅雨前線豪雨につき、平成16年10月20日~21日の台風23号により床上浸水被害が発生。 平成18年7月豪雨でも災害発生。 H21年度までは、県単河川改修にて対応。	
						効率性						B/C(費用対効果)=2.3	
						緊急性						住民参加状況等 地元住民や対策委員会が事業に対して用地交渉や工事施工調整など積極的に参加している。また、地元区による河川愛護活動が行われている。	
3	ちくまがわ 千曲川 しもさかい 下境  (飯山市)	全体延長L=405m 築堤工L=405m 樋管工N=2基 水路工L=238m (工期:H16~H29)	樋管工N=1基	樋管工 N=1基 築堤工L=40m	築堤工L=190m 樋管工N=1基	必要性	17%	計画どおり進んでいる。 H15に内水排除工(水路の統合)が完了し、引き続き築堤工を実施する。	無堤地区間で平成18年7月豪雨など災害が頻発して発生しており、重要性が高いため、継続とする。	重要性は認められる。	「継続」		
						重要性						特記事項 H16年台風23号、H18年度梅雨前線豪雨に浸水被害発生。 H21年度までは、県単河川改修にて対応。	
						効率性						B/C(費用対効果)=1.4	
						緊急性						住民参加状況等 今後、地元区による河川愛護活動について調整していく。	
合計	3箇所	25億260万円	1億円	7700万円	20億1251万円	A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満							

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続) (要領第5の2(1)関係)

分野	河川の護岸築堤等		事業番号、事業名	16 広域河川改修(地域自立活性化交付金)		補助・単独別	補助	建設部 河川課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
1	すねこ 諏訪湖 なんぐう 南宮  (岡谷市)	河川管理用通路工 L=100m 橋梁工N=1基 (工期:H21~H24)	橋梁下部工(A1・ A2) N=2基 護岸工 L=80m	橋梁上部工 N=1基 護岸工 L=40m	橋梁下部工(A1) N=1基 護岸工 L=80m 橋梁上部工 N=1式	必要性 A	39%	H22から橋梁工事に着手している。	洪水時の水防活動 及び通常の河川巡視 を確実にを行うために、 諏訪湖周に沿った管理 用通路の整備が必要 であり、継続とする。	予定工期内の完了 を図る。	「継続」
		4億9000万円	1億5000万円	1億1408万円	3億円	重要性 A	特記事項 平成18年7月豪雨により、諏訪湖周辺において大規模浸水災害 が発生。				
						効率性 B	諏訪湖を湖岸から離れずに周回できるように管理道路を整備し、 水防活動、安全管理活動に寄与する。 B/C(費用対効果)=1.0				
						緊急性 B	住民参加状況等 アダプトプログラムによる清掃美化活動や自治会や学校等による 河川愛護活動が行われている。				
合計	1箇所	4億9000万円	1億5000万円	1億1408万円	3億円						